オーディオは録音の楽しみ 録音は創る楽しみ

茨城町町長公室広報統計係
金　井　春　夫

統計関係の皆さん今日は。喫煙室への原稿ということで何を書こうかと考えましたが，この機会ですから公務を離れ，自己紹介を兼ねた私の趣味について書いてみたいと思います。

オーディオを本格的に取り組んだのは，13年ぐらい前だと思います。当初はラジカセで充分に満足しておりました。しかし，音質や機能など徐々に物足りなさを感じてきたのです。ちょうどこの頃，兄(６歳上，公務員)が使い飽きたアンプを１台持ってきました。今考えると，これがオーディオの火付け役だったのです。アンプだけでは音が出ないので，まずはスピーカーを購入。そして，レコードプレーヤー，チューナー，カセットデッキ……次々と必要になってきました。何とかシステムを揃え，音が出るようになりました。この時，ラジカセとの音の差は歴然で表すことばもなく，ただ満足するだけでした。以来，音のとりこになったことは間違いありません。

オーディオを楽しんできた理由として，実はもう１つあります。それは，楽器演奏を録音するシステムとして利用することです。１つの曲をリードギター，サイドギター，シンセサイザー，トランペット……など自分で演奏，これを繰り返し録音します。こうして５人編成，７人編成の演奏が仕上がるというものです。１曲めが完成した時の感激はもう〝ひとしお〟でした。前奏は，間奏は，ハーモニーは，など幾度も聞き返し自己満足に浸っておりました。最初の頃，これをカセットテープデッキ２台で録音再生を繰り返す〝ダビング〟で行ってきました。ところが，このダビングの方式には致命的な欠点がありました。それは，２回・３回と重ねるごとに音が濁ってくることです。５回目になると，もう最初に録音した楽器の音は不透明でノイズは増えるし，とても聞くに耐えられません。しかし楽器編成上どうしても５回は必要……これが悩みのたねでした。ここに朗報!!こんな悩みを一気に解消してくれるマシーンがあったのです。それが現在のシステムで，マルチトラック・オープンデッキ(写真中・右)です。ところがこの値段が高いことでこれまた悩みとなりました。しかし，ほしいがための努力はおしまず何とか目的達成。その直後，町内の区から音頭の作曲依頼があり，それを演奏録音したのが〝使い初め〟その後音づくりの中心的存在となっています。

最近，音づくりマシーンの仲間が増えました。それはマイコンです。作曲するのに好都合，画面を見ながら音符を入力すると自動演奏，コードも出るので文句なし。たまにはマージャンゲームで休憩もします。もう１つ強い仲間がいます。演奏するとき絶対必要なのがドラムです。これを一手に引き受けてくれるのがデジタルドラム，本物そっくりの音で，入力によりどんなパターンの演奏でもＯＫ。これが仲間入りしてから，オープンデッキはさらに回転を増しています。どなたか高まる回転をゆるめて下さい。

【新着資料案内】【新着資料案内】

この資料は，昭和61年４月中に統計課に到着した主なものです。ご利用下さい。
資料室　本庁舎地下１階　TEL 0292-21-8111(内線2238・2239)

行政資料名	発行所（者）
中央省庁関係	
昭和59年　人口動態統計　上巻	厚生省
昭和60年　厚生行政基礎調査報告	〃
昭和59年　生産農業所得統計	農林水産省
昭和59年度　農家資金動態統計	〃
昭和59年度　農家生計費統計	〃
昭和59年度　農家の形態別にみた農家経済	〃
耕地及び作付面積累年統計(昭和50・56～60年)	〃
昭和59年　漁業・養殖業水域別生産統計	〃
昭和59年　関東水産統計地域における漁業動向	〃
茨城県漁業の現状と課題	関東農政局茨城統計情報事務所
昭和59年　港湾統計	運輸省
昭和60年　茨城県気象年報	気象庁水戸地方気象台
茨城県関係	
昭和60年度　環境白書	環境管理課
昭和61年度　公共用水域の水質測定計画	公害対策課
市町村公共施設の現況　昭和60年3月31日現在	地方課
茨城県地域防災計画(計画編・資料編)(震災応急対策計画編)	消防防災課茨城県防災会議
茨城県地域エネルギー開発利用事業化可能性調査報告書	〃
昭和60年　茨城県の人口　常住人口調査結果報告書	鹿行開発課
昭和60年版　茨城県勢要覧	統計課
茨城県の人口(町丁字別)―昭和60年国勢調査結果(概数)―	〃
茨城の商業	〃
昭和60年度　同和対策事業概要	〃
昭和60年　衛生統計指標	社会福祉課同和対策室
経営分析の手引(工業編)	医務課
昭和60年度版　茨城県中小企業経営指標	経営助成課
京浜地域市場の概要と茨城県青果物の入荷状況	〃
昭和61年度　植物防疫事業	東京農産流通指導センター
昭和61年　農作物病害虫防除雑草防除基準	改良普及課
昭和59年度　農作物有害動植物発生予察事業成績年報	〃
昭和60年　日立港統計年報	〃
国際科学技術博覧会関係資料(昭和60年３月17日～９月16日)	日立港湾事務所
県立歴史館報13号	土浦土木事務所科学万博対策室
	県立歴史館
県内市町村関係	
行政資料目録(追録第５号)	水戸市
目で見る連青30年のあゆみ ―創立10周年記念―	大子町
明野町総合振興計画　第二次基本計画	連合青年会明野町

行政資料名	発行所（者）
都道府県関係	
昭和59年度　法人企業経済調査結果報告書	北海道統計課
昭和60年　商業統計調査結果報告書	〃
昭和60年　商業統計調査概要	〃
昭和60年版　市町村民所得統計	宮城県統計課
昭和60年　統計資料目録(追録第９号)	〃
山形県の農業　1985年農業センサス結果報告書	山形県統計調査課
昭和60年　毎月勤労統計調査地方調査結果	〃
山形県の工業　―工業統計調査結果報告書―	〃
1985年農業センサスからみた栃木県の農業	栃木県統計課
昭和60年　国勢調査結果速報　町丁・字別人口と世帯数(要計表より集計)	群馬県統計課
昭和59年　埼玉県の輸出産業	埼玉県統計課
昭和59年　埼玉県の工業	〃
昭和60年度　学校保健統計調査報告書	〃
昭和60年　小規模事業所の賃金・労働時間及び労働者数	〃
昭和59年度　物資流通統計調査結果報告	千葉県統計課
暮らしととうけい	東京都管理課
人口の動き(昭和60年中)	東京都人口統計課
昭和60年　新潟県の人口移動	新潟県統計課
昭和60年　にいがた県の商業	〃
昭和60年度版　富山県の歩み ―県内生活と県内経済―	富山県統計情報課
統計からみた岐阜県経済と県民生活　昭和60年版	岐阜県統計課
1985年　農業センサス結果報告書	静岡県統計課
昭和60年　あいちの物価	愛知県統計課
昭和61年版　市町村別社会生活関連指標	滋賀県情報統計課
毎月勤労統計調査特別調査結果 ―昭和60年７月調査―	京都府統計課
毎月勤労統計調査地方調査結果速報(昭和60年平均)	大阪府統計課
昭和58年度　県民所得推計報告書	鳥取県統計課
熊本県工業の変遷 ―昭和30年からの本県工業のあゆみ―	熊本県統計調査課
昭和58年度　市町村民所得	宮崎県統計課
1985年　長野市地附山地すべりの災害調査研究	信州大学工学部
公社・会社・団体等関係	
下水道と財政 ―第5次下水道財政研究委員会の提言と解説―	(財)日本都市センター
日本アルマナック　現代日本を知る総合データバンク 1986	(株)教育社
図説　農林漁業金融公庫　農林水産行政と公庫資金	農林漁業金融公庫
わかりやすい年金制度改正点の解説付／新年金制度 知っておきたい手続	(財)茨城県社会保険協会

経済動向

国内の動き

●円高デフレ，景気停滞色濃く

円高のデフレ効果が景気指標にはっきりと表われてきた。3月の鉱工業生産指数は，輸出不振を主因に前月比低下した。3月の大型小売店販売額はまずまずの伸びだったが，「家計調査」でより広くとらえた個人消費は2月も低迷している。こうしたことから，景気指標を総合した2月の景気動向指数(一致指数)は7ヵ月連続で50%ラインを割り，景気後退色が一層強まった。

経済企画庁が28日発表した2月の景気動向指数(DI)によると，一致指数は36.4%で，7ヵ月連続で景気の転換を意味する50%ラインを下回った。また，これまで50%を上回っていた先行指数も50.0%と，50%ラインまで下がった。企画庁は景気の拡大が続いているとする判断は変えていないが「足どりは緩慢」といっている。
(日経　4月29日付)

●公共事業繰り上げ契約，上期77.4%に決定

政府は9日午後，公共事業等施行対策連絡会議を開き，国や公団などの公共事業関係予算のうち，77.4%を上半期に繰り上げて契約するとの目標を正式に決定した。大蔵省がまとめた61年度の国の公共事業関係予算(各種施設の設備費などを含む)は前年度比0.7%増の10兆8792億円。内訳は，一般会計3兆2931億円，特別会計4兆2963億円，政府関係機関6679億円，公団・事業団2兆6219億円。政府は61年度の公共事業関係予算のうち，約8兆4千億円を上期に契約することになる。(日経　5月10日付)

●第3次産業就業者，20世紀末には65%

経済企画庁が18日まとめた「技術革新と雇用」報告によると，今後ME(マイクロエレクトロニクス)化，情報化が進むと，製造業就業者が減り，2000年には3人に2人は第3次産業で働くようになる。製造業内部でも，管理・事務部門に就く人が増え，労働のサービス化が一段と進む。また，職種別には，ブルーカラーから専門職，技術者など高度な職業への転換を促すと予測している。

報告は今後の技術革新の方向として，①ME，新素材，バイオテクノロジーなどの新技術開発　②製造工程のME化　③サービス・事務部門の情報化　④企業の異分野参入――をあげる。これらの就業構造への影響度を，企画庁の計量モデル(長期多部門モデル)で推計した。
(日経　4月19日付)

県内の動き

■経　済

●茨城の景気さらに悪化

大蔵省水戸財務事務所がまとめた61年1～3月の茨城県内経済情勢によると，景況は全体として悪化傾向にある。個人消費や民間の設備投資はおおむね順調に伸びているが，工業生産がいまだに低水準で，雇用情勢も悪くなっている。中小企業に対する円高の影響は深刻なものは少ないが，今後は家電，自動車などの下請け企業では，納入価格の引き下げ，部品の高品質化など親企業から厳しい要請が強まるとみられる。

個人消費の増加は，大型店の新規出店が相次いだのが主因。ただ既存店は売れ行き不振のところが多く，店舗間，地域間の差が出始めている。(日経　4月24日付)

■その他

●高齢化社会が急ぎ足

本県の人口増加率が3年連続して前年を下回り，19年ぶりに低い水準となる中で，65歳以上の老人の全人口に占める割合がさらに増加した。県が17日まとめた60年度の県常住人口の調査報告書で，老人人口の構成比が10.2%と前年より0.2ポイント増加，県北山間部を中心に高齢化社会がさらに著しく進んでいることが明らかになった。

報告書によると，本県人口は今年1月1日現在で2,730,629人，60年中に24,109人増加した。しかし，増加率は0.89%で，前年より0.08ポイント下回り，3年連続減少傾向だった。(いはらき　4月18日付)